

倉東だより

No. 166

編集発行
倉吉東高育友会
印刷
山本印刷株式会社



北海道訪問 2年次生研修旅行 10月17日～20日



今年も海外研修は止め、3泊4日で国内への研修へ行きました。本州とは異なる独自の自然環境や歴史文化を持つ北海道を訪問し、さまざまな体験学習をすることができました。

三本線



育友会副会長
相澤 涼太

「ありがとうを言い合える世界に」
去る十一月五日、四年ぶりの開催となった自動車業界のビッグイベント「ジャパンモビリティショー」が百十万人を超える来場者を記録して大盛況のうちに幕を閉じました。冒頭の言葉はイベントを主催する「日本自動車工業会」会長で前トヨタ自動車社長の豊田章男氏が、このイベントを通じて伝え、叶えたい未来の社会の姿を問われて答えた言葉です。

七十年近い歴史を持つ「東京モーターショー」から「ジャパンモビリティショー」へと名前を変えての開催となった今回は、文字通り「モーター（自動車）」だけではなく「モビリティ（移動手段）」全般の未来を提案する内容へと変化。自動車業界の枠にとられない様々な企業に出展の開口を広げ、近年自動車業界へ続々と参入している異業種やベンチャー、スタートアップ企業までもを一堂に集めました。その出展社数は前回開催時の一九二社から倍増の四七〇社。既存自動車メーカーにすれば自分たちの商売を脅かすライバルにもなり得る存在ですが、それらの企業にも百万人の来場者や、四〇〇社を越える出展企業に対してそれぞれの技術をPRする機会と環境を提供したのです。

業界の枠に閉じこもって既得権を守るのではなく、新しい価値観と出会って刺激しあい協力し合うことでより良い未来をつくる。そこにはきつとお互いへの「ありがとう」の想いや言葉が溢れる。そんな想いが会長の言葉には込められているそうです。多様性が声高に叫ばれる昨今、これから社会へ出て行く子ども達は、私たち保護者世代より更にバラエティに富んだ価値観との共存を求められます。自分とは違う環境、文化、年代を生きてきた他人との出会いは不安や不快、時には衝突を生むこともあるかもしれません。しかし、人は人との出会いによってのみ磨かれ、人間力を養い、より良い未来へと向かうことができます。

親として、我が子には価値観の違いを恐れず、一人でも多くの人と出会い、人間力を磨き、そして素直にありがとうを言い合えるよりよい未来をつくらせてあげたいものです。豊田会長は経営者として自動車業界の「懐の深さ」と「未来志向」の姿を見せてくれました。さて、保護者として私たちは子どもに何を見せられるでしょうか。まずは「我が家に生れてきてくれてありがとう」の思いを伝えるところからでしょうか。簡単なようでなんと照れくさいですね。

北海道訪問 2年 研修旅行



<札幌ホテル朝食>



<班別自主研修の到着チェック>



<かに御殿 白老での昼食>

<ダチョウ牧場で>



<伊丹空港到着>



<ウボポイ到着>



<高橋牧場>



<火山マイスターさんの講義>

クラス代表感想

自分にとって初めての地である北海道に行き、自分の見聞を広めることができ、なんだか開拓使になった気分でした。北海道民が築き上げてきた自然や風景や土地などに触れながら、自分の中の北海道を開拓していききました。北海道は土地が広いので一車線の道路が鳥取よりも広がっています。札幌市内は京都のような基盤の目の通りになっています。当時北海道を開拓した人の考えが伝わってきたような気がしました。ニセコ市は自然豊かな山に囲まれているので温泉業も盛んでした。昔、山を削って硫黄を掘り、それが硫黄含有温泉として発達してきたこともわかりました。さらに、友との交流も活発にし、仲を深めることができてよかったです。

(二年一組 宇田川 慶人)

長い移動時間や、話を聞く機会が多かったので少し疲れたけれど、楽しく充実した四日間を過ごせました。時間に余裕のある日、予定の詰まった日があつたけれど、みんな臨機応変に対応し、予定通りの行動ができたのではないかと思います。ロゲインは他クラスの人を含めた班編成でしたが、協力して作戦を立てたり、話し合ったりして仲良くなれた人もたくさんいました。札幌での自主研修は行きたい場所を出し合い、楽しく回れました。予定の場所を回ったのが意外と早く、時間に余裕が出来たため、歩きながら行ってみたい場所を見つけながら満喫しました。北海道に行くのは初めてで、楽しみな反面不安もありましたが、最終日には名残惜しいくらいに楽しめ良かったです。

(二年二組 保田 芹葉)

常に集団行動をしたので、時間を守ることはもちろん、周りの人にいろいろな配慮をしたりと、大変なことや難しいこともあったけれど、協力して四日間を終えることができました。北海道にいるすべての時間が学びであり楽しかった。バスに乗っているとさや町を歩いているときは北海道の生活様式や自然について実際に見て学ぶことができても面白かったです。自分が住んでいる倉吉と比べ、大きな違いにびっくりしました。ニセコのホテルに向かう途中でバスに乗っているときに鹿を見つけたのはとても嬉しかったです。自主研修のとき、店の場所が分からなくて、街の人に聞いたら、優しく笑って答えてくださり、人の温かさを感じた。(二年三組 望月 花恵)

中学校では県内&日帰りの修学旅行でした。当時は、「ああ高校生もこんな感じで、どうせ遠いところにはいけないんだろうな。」と思っていたため、北海道と聞いたときはとてもうれしかったです。貴重な経験をさせていただいた先生方などには感謝しきれません。搾りたての牛乳でアイスを手作りしたり、ロープウェイに乗ったり、天気が悪すぎてさほど見られなかった有珠山、時間ギリギリだった自由行動など、たくさんさんの思い出を作ることができました。でもやっぱり一番楽しかったのは友達との会話です。バスで話したり、部屋で遊んだり。集団で行くことの重要さを実感しました。学生生活最後の研修旅行が北海道でよかったです。ありがとうございました。

(二年四組 中江 慧)

この旅行は移動がとにかく多く、久しぶりの飛行機はとても楽しかった。ただ荷物を預けたりするだけでも自分に責任のかかる場面は緊張した。今まで色々な事をやってくれていた親や、周りの大人に改めて感謝したいと思った。初日のウボポイは時間がなかったため、あまり長く見ることができなかったけれど、アイヌの人々の暮らしがわかった。正直言語と服装しか本州の文化との違いは分からなかったが、服装や言語が違っても差別は絶対してはいけないと思った。二日目はニセコロゲインで、ニセコ町内にあるSDGsに関係するものを見て回り、意外と何気ないところにSDGsが隠れていることが分かった。ダチョウ牧場では実際にダチョウに餌をやったり、話を聞いたりして命の大切さや自分が生きていることのありがたみを知った。三日目は有珠山、昭和南山を見た。火山ガイドの方の話がとてもわかりやすく色々なことを知れた。自主研修は札幌で美味しい海鮮とラーメンを食べることができて、四日目はノーザンホースパークで見た馬はかっこよかったですし、やっぱり足が速かった。帰りの移動で四日間の疲れを一気に感じたが、この旅行では周りの大人のありがたさや、自分の家の居心地の良さを再認識できた。とても楽しかった。

(二年五組 桃木 理崇)



<ニセコ駅>



<ロゲイン> 協力してSDGsについて考える

心に刻む、旅の思い出。

👉ドローイング(絵画)と自由律の俳句で、この旅一番の瞬間を表現しました。 **優秀作品をご覧ください!!**

〈俳句優秀作品〉

<p>スマホバキッ!! ニセコ宿にて CRYMAX 五組 桃木 理崇</p> <p>宿のテレビでオリックスのクライマックスシリーズを観ていたときのこと。山本由伸が失点した時に、ベッドの上で飛び跳ねたはずみでポケットから落ちたスマホの画面がカチ割れた。泣くほど悲しかった。</p>	<p>鳥取からいらんからぶて 北海道名所・ラーメン・海鮮 最高っしょ 五組 音田 千尋</p> <p>中村さん(ガイドさん)から教えてもらった「いらんからぶて」(こんにはは)。巡った場所、おいしかった食べたもの、全部新鮮な気持ちになり、今まで行った中で一番楽しい思い出になりました。</p>	<p>北津風 憂き心地を吹き荒べ 皆人の笑顔 とどめてしがな 四組 大田 真子</p> <p>「北の風、嫌なことを吹き飛ばしてくれ、みんなの笑顔をもう少し見たい」 みんな嫌なことを忘れて楽しんでる、いつも学校で見るのとは違う表情があつて、北海道のどんな場所より見たいと思いました。</p>	<p>雪の降る 空を見上げて みれば虫 二組 山田 皐月</p> <p>空から時々降ってくる白いものを雪だと思ったら、ガイドさんからそれが雪虫だと教えていただきました。</p>	<p>北海の 口中逃げる 跳ねいくら 二組 小谷 まこ</p> <p>海鮮丼のいくらが大きくて、弾力が強く、口中で簡単につぶれず、噛もうとしても逃げてしまいます。口中で逃げたいくらを探しながら食べ、北海道ならではの新鮮さを感じました。</p>	<p>秋霖の上 夢追い人の 滑走路 二組 隅 陽菜子</p> <p>帰りの飛行機で、空港は雨が降っていたけれど雲の上は晴れて雲海が水平線のように一直線だった。帰りはみんな疲れて夢追い人。2年生の秋、大きな行事も終わり受験の準備を始める滑走路に立つ。</p>	<p>北海道 寒かったけど あつかった 一組 太田 暖乃</p> <p>飛行機を降りた瞬間「さむっ!」と思ったけれど、北海道の人が温かいなと思った。ロケインでは地域の方が丁寧に道を教えてくださった。バスガイドさんやホテルの方なども親切で温かった。</p>
--	--	---	---	--	---	--

〈ドローイング(絵画)優秀作品〉

 <p>2-1 羽根田 杜真</p>	 <p>2-1 玉木 大雅</p>	 <p>2-1 坂本 結菜</p>	 <p>2-2 松井 心結</p>	 <p>2-3 東原 寧々</p>	 <p>2-3 榎田 楓</p>
 <p>2-4 小椋 麻未</p>	 <p>2-4 津村 未羽</p>	 <p>2-4 筏津 乙天</p>	 <p>2-5 田村 明子</p>	 <p>2-5 藤里 優光</p>	 <p>2-5 入江 結奈</p>

2023IBTF世界バトントワリング選手権大会

前田恵舞さん銅メダル！

8月9日～13日にイギリス・リバプールで開催された世界大会に2年生の前田恵舞さんが出場し、トゥーバトン 女子ジュニア部門で3位に入賞し銅メダルを獲得しました。前田さんはペア部門でも4位に入る快挙を成し遂げました。



10月13日（金）には県教育長表敬訪問を行いました。前田さんは「多くの方のご支援のおかげで、念願のメダルが取れ感謝しています。これがきっかけとなり、バトンに興味を持つ人が増えてくれたら嬉しいです」と足羽教育長に入賞の報告を行いました。

ラグビー部花園出場！2年連続13回目！



11月12日（日）どらドラパークで第103回全国高校ラグビー大会鳥取県予選が行われました。

決勝戦で県合同チームと対戦し、20対0のスコアで勝利し2年連続の花園出場を決めました！

全国大会は12月27日（水）に始まり、本校の1回戦は大会第1日目、午後1時25分から花園ラグビー場第3グラウンドで高松北高（香川）と対戦します。

応援よろしくお祈いします！



岡山大学IB入試説明会開催 令和5年11月1日(水)

～IBDP第1期生決定～

IBDP第1期生が決まりましたが、2年後にはIB入試を利用しての進学が見込まれます。そこで、岡山大学准教授IB入試推進室長サビナ マハムド氏をお迎えし、IB入試についての説明を聞きました。岡山大学では早くからIB入試を導入されています。求められるIB生像や学びの内容などについて、来年度からIBDP生となる生徒達はしっかりと話を聞くことができました。



2023IB紹介動画
是非ご視聴ください!



中国四国地区高P連大会 岡山大会に参加して

育友会副会長 小谷 鈴子

7月14日に倉敷市市民会館で開催された高P連中国四国大会岡山大会に、竹中教頭と井勢&小谷副会長コンビの3名で参加いたしました。

倉敷での開催ということで、中部地区県立高4校でマイクロバスに乗り合わせ日帰り参加しました。詳細はすでに学校HPや高P連だよりで報告されていますので、ここでは参加させていただいての感想を書いています。

今大会は約1200名の参加があり、この規模もさることながら主にPTA活動の発表に対して会場から次々と質問の手が挙がる様子に、コロナ自粛が明けて全国的にPTA活動が本格始動し始めたことを実感しました。また、会場では倉敷帆布の資料袋や倉敷・岡山の幸を詰め込んだ昼食弁当が用意され、ホールでは県内各地から参集した専門高校の農産物や加工品の販売があり、中四国から一同に会場する他県の保護者を大いにもてなそうとする雰囲気に感心しました。

紀行作家で一級建築士の稲葉なおと氏による講演会、3校の高校生による課題解決型学習の発表、3県のPTA代表による活動発表というプログラムを終え、観光地倉敷でありながら全く観光することなく閉会后すぐにマイクロバスへ乗り込んで帰路へつきましたが、充実した一日だったと満足しています。講演してくださった講師の著書の販売とサイン会に行列して一冊買い求めたのが自分へのよい記念土産になりました。



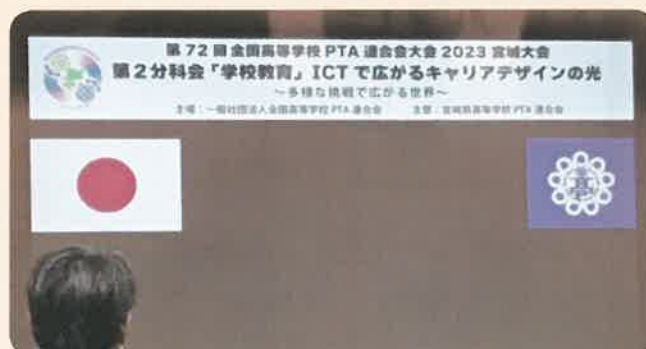
第72回全国高等学校PTA連合大会「2023宮城大会」参加報告

育友会副会長 大西 慶祐

第72回全国高等学校PTA連合会大会2023宮城大会(8月24日・25日)が、仙台市内6会場で開催され、本校から2名が参加しました。

大会初日は、「防災・減災教育」分科会に参加。東北大学の佐藤翔輔准教授から、「実践的な災害対応能力を身につけるための“これから”の防災教育案」を聴講。東日本大震災後の研究を踏まえ、「人生は危機・困難だらけ、乗り越える力(災害等)を身につけて欲しい。」と強調されました。

大会2日目は、今年夏の甲子園(選手権大会)の準優勝校、仙台育英学園高等学校野球部 須江 航監督の記念講演「伝わる言葉～失敗から学ぶ～」を聴講。『人生は敗者復活戦』と甲子園で敗北後に語った言葉は、須江監督の座右の銘。「大切なことは、挫折と向き合うこと」「挫折のない人生なんてない。面白みを感じて努力することが大事。」など、自身の経験と理念を熱く語られました。高校生活は人生の土台づくりに大切な時期、子どもとの関わり方を考える機会になりました。



2023中部地区高等学校PTA研修会報告

育友会監事 福嶋 寛子

今年度は倉吉西高等学校の主幹で十月二十一日(土) 十三時三十分より開催されました。当校は福光校長先生、竹中教頭先生、丸川先生と評議員五名で参加し、当校含め中部五校が集まりました。まず関金町の旧山守小学校で研修をさせて頂きました。現在はリングロー株式会社により「山守集学校」として、地域へのITを中心とした施設活用を展開されています。学校は未だに木材の香りが漂い、周りの自然と関金の歴史を背景とした素晴らしい建築でした。次に旧国鉄倉吉線廃線跡の臨時案内所を見学しました。倉吉線の記憶も蘇り、各々思い出を楽しく何うことができました。最後は建設中である鳥取県立美術館を見学させて頂きました。現時点で来場者は既に一万人以上ものぼり、三階構造の解説を竹中工務店生田氏に頂きながら展示室や保管庫などのバックヤード、美術品搬送のエレベーターにも乗せて頂きました。中部の地域に関する知見を深め、四年ぶりの顔の見える研修会で中部高等学校のさらなる結束を得ることができました。



部活動成績(新人戦等)

テニス部

鳥取県新人戦
女子シングルス 櫻井 友子 1位
女子ダブルス 櫻井友子・山根 まお 2位

中国新人テニス大会
女子シングルス 櫻井 友子 5位

水泳部

鳥取県高校新人水泳競技大会
女子二百m個人メドレー 太田 暖乃 1位
女子二百m背泳ぎ 太田 暖乃 3位
女子二百m自由形 小谷 まこ 4位
女子二百mバタフライ 小谷 まこ 6位
女子二百m平泳ぎ 三好 楓 6位
女子二百m個人メドレー 小原 絢夏 2位
女子四百m個人メドレー 小原 絢夏 2位
女子四百mフリーレレー 小原 絢夏 2位

女子四×四百mフリーレレー
小原・小谷・三好・太田 4位
女子四×四百mメドレーリレー
太田・小原・小谷・三好 4位
男子二百m平泳ぎ 伊垢離大琥 3位
男子二百m背泳ぎ 山田 寛人 5位
男子二百m背泳ぎ 山田 寛人 5位
男子二百m背泳ぎ 山田 寛人 6位

鳥取県高等学校柔道新人戦
女子個人七十kg級 森上 沙来 2位

鳥取県新人陸上競技大会
男子総合
男子フィールド総合
千五百m 矢吹 駿裕 1位
四百m 福井 涼太 1位
走高跳 菊留 蓮 1位
棒高跳 衣笠 慎一 1位
四百m 河本 英瑠 2位
四百m 福井 涼太 2位
三千m障害 橋本 錦 2位
五千m競歩 竹部 慎馬 2位
四×四百m R 竹部 慎馬 2位

永田・福井・河本・田中
棒高跳 鹿島 熙伴 2位
三段跳 亀井 瑛太 3位
二百m 河本 英瑠 3位
八百m 矢吹 駿裕 4位
走高跳 亀井 瑛太 4位
走幅跳 田中 旬 4位
百十m H 矢木翔太郎 5位
四×四百m R 河本・中村・矢吹・福井 5位

走高跳 橋本 瑛太 5位
走幅跳 亀井 瑛太 6位
女子総合
女子フィールド総合
四百m H 鍋島のどか 1位
やり投 鍋島のどか 1位
ハンマー投 藤井 はる 1位
百m H 鍋島のどか 2位
三段跳 岩野 真南 2位
四×四百m R 鍋島・保田・増井・松尾 2位

鍋島・保田・増井・松尾
四×四百m R 鍋島・保田・増井・松尾 2位

中国新人陸上競技大会
ハンマー投 藤井 はる 2位
千五百m 矢吹 駿裕 4位
走高跳 菊留 蓮 4位
棒高跳 衣笠 慎一 4位
五千m競歩 竹部 慎馬 5位
やり投 鍋島のどか 5位
百m H 鍋島のどか 7位
三千m障害 橋本 錦 8位

スボレク会長杯陸上競技大会
河本 英瑠 2位
河本 英瑠 2位
菊留 蓮 2位
衣笠 慎一 3位
亀井 瑛太 4位
亀井 瑛太 4位
鹿島 熙伴 5位
松尾 凍歩 1位
岩野 真南 1位
藤井 はる 1位
鍋島のどか 3位
田中 旬 3位
保田 芹葉 4位
増井 海遥 6位
蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

走幅跳 百m 蔵増 彩希 6位

鳥取県高校総体駅伝競走大会
網本・松本・矢吹・橋本・徳井・宮本・竹部 4位

鳥取県新人戦
鳥取県フットサル大会U18部門 Aチーム 1位
Bチーム 3位

全国高校ラグビー大会県予選
花園出場 1位

パレオボール女子
第七十六回全日本パレオボール高等学校選手権大会鳥取県予選 ベスト8

鳥取県新聞コンクール
令和6年度全国高総文祭出場 2位

鳥取県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
鳥取県定通教育振興会 優秀賞 高橋 由佳

鳥取県新人戦
鳥取県フットサル大会U18部門 Aチーム 1位
Bチーム 3位

全国高校ラグビー大会県予選
花園出場 1位

パレオボール女子
第七十六回全日本パレオボール高等学校選手権大会鳥取県予選 ベスト8

鳥取県新聞コンクール
令和6年度全国高総文祭出場 2位

鳥取県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
鳥取県定通教育振興会 優秀賞 高橋 由佳

鳥取県新人戦
鳥取県フットサル大会U18部門 Aチーム 1位
Bチーム 3位

全国高校ラグビー大会県予選
花園出場 1位

パレオボール女子
第七十六回全日本パレオボール高等学校選手権大会鳥取県予選 ベスト8

鳥取県新聞コンクール
令和6年度全国高総文祭出場 2位

鳥取県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
鳥取県定通教育振興会 優秀賞 高橋 由佳

鳥取県新人戦
鳥取県フットサル大会U18部門 Aチーム 1位
Bチーム 3位

全国高校ラグビー大会県予選
花園出場 1位

パレオボール女子
第七十六回全日本パレオボール高等学校選手権大会鳥取県予選 ベスト8

鳥取県新聞コンクール
令和6年度全国高総文祭出場 2位

鳥取県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
鳥取県定通教育振興会 優秀賞 高橋 由佳

鳥取県新人戦
鳥取県フットサル大会U18部門 Aチーム 1位
Bチーム 3位

全国高校ラグビー大会県予選
花園出場 1位

パレオボール女子
第七十六回全日本パレオボール高等学校選手権大会鳥取県予選 ベスト8

鳥取県新聞コンクール
令和6年度全国高総文祭出場 2位

鳥取県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
鳥取県定通教育振興会 優秀賞 高橋 由佳

鳥取県新人戦
鳥取県フットサル大会U18部門 Aチーム 1位
Bチーム 3位

全国高校ラグビー大会県予選
花園出場 1位

編集後記

二〇二三年も暮れようとしています。今年三月のWBCに始まり、パレオボール・ラグビーなど、ワンチームとなり快挙を成し遂げていく姿に熱くなり、魂を燃やそうという日々だったように振り返ります。各々が己のすべき事を全うし、お互いの立場を思い合い、向かうべきものを共有する。その一体感が生み出す力に魅了されました。倉吉東高バカロレア教育も来年度いよいよ始動です。学びのプロセスは異なる部分もありますが、同じ倉吉東高生です。お互いを理解し、自分の頑張りを全うする姿勢を、まずは保護者から示し、ワンチームとなって子どもたちの頑張りを応援したいですね。(M.Y)

連絡

諸事情により育友会役員の方計担当を、大西慶祐副会長が兼務することになりました。